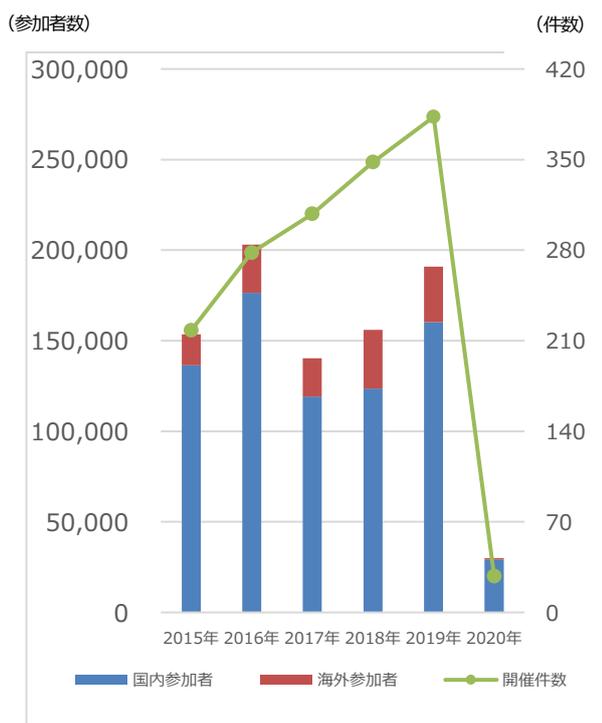


2020年 京都 開催の国際会議統計の発表について

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューローでは、2020年1月～12月の京都における国際会議の開催実績を、日本政府観光局(JNTO)基準*により集計し、別添冊子のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

- 2020年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、予定されていた多くの国際会議が中止・延期となるなど大きな影響を受け、開催件数は京都市域で28件(前年比92.7%減)、市域を除く京都府域で3件(前年比81.2%減)と1987年の統計調査開始以降、最も少ない開催件数となりました。
- 海外からの入国制限措置が開始された3月から、全世界を対象に入国制限措置が緩和された10月までの約6ヶ月間は国際会議の現地開催が一切なく、1～3月に全体の85.7%となる24件が開催されました。
- 他方で、国際会議統計の基準には合致しない、国内参加者のみで開催される国内学術会議(現地参加者数500名以上)については、8月以降継続的に開催されております。
- 当財団では、感染症対策に係る経費に対する助成金制度の創設や、感染拡大防止対策と京都らしい開催の在り方を提案する「ウィズコロナ社会におけるMICE京都モデル」を策定するなど、安心・安全で地域に貢献できる開催の支援を継続実施しています。また、本年6月4日には、MICE開催を通じて、京都の魅力や人々の暮らしの向上、観光・MICEの振興などに寄与する「京都MICE基金」を全国で初めて創設し、SDGs・京都へ貢献する取り組みも開始しております。
- 当財団では、引き続き、中止・延期となった案件へのフォローを怠ることなく、京都府・京都市・京都商工会議所・国立京都国際会館等の関係各機関、会員企業・団体の皆様との連携を一層強化し、国内・国際会議の誘致、安心・安全な開催の支援に努めてまいります。

年別開催件数・参加者数(京都市域)



【京都府全域】

開催件数 31件 (前年比: 7.8%)
総参加者数 30,232人 (前年比: 14.7%)

【内、京都市域】

開催件数 28件 (前年比: 7.3%)
総参加者数 29,954人 (前年比: 15.7%)

【内、京都市域を除く府域】

開催件数 3件 (前年比: 18.8%)
総参加者数 278人 (前年比: 1.8%)

※国際会議の計上基準

| 開催形態 | 計上基準 |
|----------|---|
| 現地開催 | 以下の①～④の全てを満たす会議を国際会議として計上(JNTO基準) ① 主催者:「国際機関・国際団体(各国支部を含む)」又は「国家機関・国内団体」 ② 参加者総数:50名以上 ③ 参加国数:日本を含む3か国以上 ④ 開催期間:1日以上 |
| ハイブリッド開催 | ・現地開催とオンライン開催を併せた開催形態 ・現地参加者が、「現地開催」の基準を満たす会議のみ件数計上し、参加人数は現地参加者数のみを計上 |
| オンライン開催 | ・オンラインのみで開催される開催形態 ・現地参加者が存在しないため計上しない |